

## 施策 1 2 3 ころと身体 の健康対策の推進

### 基本事業 1 2 3 0 1 健康づくり活動の推進 (主担当 健康増進課)

県民の死因の6割を占める生活習慣病を減少させるため、予防施策の指標として策定した「三重県健康づくり基本計画」の推進により、県民一人ひとりが健康づくりに取り組めるような社会環境の整備を行います。

#### 1 健康づくりの推進

平成25年度から34年度までの10年間を計画期間とした「三重県健康づくり基本計画第二次計画」の基本的方針である、「地域住民の「健康寿命の延伸」と「幸福感を高める心身の健康感の向上」をめざし、伊勢志摩地域においても地域の健康課題の解決にむけ、市町保健行政や職域保健など関係各分野と情報共有及び情報交換の場を設けるとともに健康づくりの主要要素である栄養・運動・休養の啓発を主軸に社会資源の活用も図りながら、生活習慣病予防及び重症化予防を推進しています。

##### (1) 伊勢保健所管内地域・職域連携推進懇話会の開催

地域と職域が連携し、生涯を通じた継続的な保健サービスの体制を整備し、効果的な協働による健康づくり事業（メンタルヘルス・自殺対策を含む）を推進することを目的として、各分野代表からなる当懇話会を発足しました。

開催日	内 容	出席者
平成26年 2月13日(木)	① 当懇話会の発足について ② 伊勢志摩地域における協会けんぽ被保険者と家族の心身の健康課題として、職域保健の現状について情報共有 ③ 市町保健行政の現状課題対策の情報共有 ④ 自殺予防講演会の共催事業について	委員 22人

##### (2) 市町訪問の実施

市町における健康づくり運動の状況及び保健活動についての状況等、平成25年度の課題、方向性、特定健診・保健指導等について、各市町に出向き意見交換を実施しました。

訪問日	市 町		伊勢保健所
平成25年 5月10日(金)	鳥羽市	係長(保健師) 1名 保健師 2名	地域保健課長(保健師) 健康増進課長 保健師 1名
平成25年 5月15日(水)	伊勢市	グループリーダー(保健師) 3名	地域保健課長(保健師) 健康増進課長 保健師 2名

訪問日	市 町		伊勢保健福祉事務所
平成25年 5月17日(金)	度会町	係長(管理栄養士) 1名 保健師 1名	地域保健課長(保健師) 健康増進課長 保健師 2名
平成25年 5月27日(月)	志摩市	センター長 2名 係長(事務職) 2名 管理栄養士 1名	地域保健課長(保健師) 健康増進課長 保健師 2名
平成25年 5月27日(月)	大紀町	係長(保健師) 1名 保健師 4名 管理栄養士 1名	地域保健課長(保健師) 健康増進課長 保健師 2名
平成25年 6月7日(金)	南伊勢町	課長(事務職) 1名 医療介護対策監 1名 係長(保健師) 1名	地域保健課長(保健師) 健康増進課長 保健師 2名
平成25年 6月25日(火)	玉城町	係長(保健師) 1名 保健師 1名	地域保健課長(保健師) 保健師 3名

## 【テーマごとの推進】

### 1 身体活動・運動

江戸時代に伊勢詣の道中ガイドや宿泊・観光案内をした方達の呼称である御師(おんし)にちなんで、地域住民の健康づくりの案内を担う運動アドバイザー(ガイド・案内役)を「健康御師」として育成してきましたが、現在では自主的又は市町とともに地域で活動しています。

### 2 たばこ対策

喫煙対策は、防煙・分煙・禁煙支援の3本柱で展開し、公共の場における分煙化の推進や禁煙の啓発、防煙のための情報提供を実施しました。

- ・ 展示による啓発：世界禁煙デー・禁煙週間に伊勢庁舎ロビーにおいて受動喫煙や禁煙支援等について情報提供しました。
- ・ 伊勢保健所ホームページに、たばこに関する情報を掲載しています。

### 3 歯と口の健康づくりの支援

歯科口腔保健の推進に関する法律や条例が施行され法整備が進むなか、ホームページや窓口へ啓発用ポスター・冊子等を設置することにより、8020運動の啓発を行いました。

### 4 食環境の整備

#### (1) 健康食育推進事業

幅広い世代を対象とした健康的な食習慣の形成を図るため、食事バランスに対する理解と「食事バランスガイド」の活用に向けた普及啓発を行うとともに、多様な主体と協働し、食育活動や県民のライフステージに応じた食環境づくりを推進しました。

## ア 野菜フル350推進事業

食生活の現状をみると、全ての年代で野菜の摂取が不足しており、生活習慣病予防の視点などから課題となっています。健康的な食生活が実践できるよう、1日の野菜摂取の目標量を350gとし、野菜摂取の増加（食事バランスガイドで副菜1つの増加）に焦点をあてた事業を推進しました。また、健康的な朝食習慣の定着及び野菜摂取不足の解消を図るために、朝食における野菜摂取を推進しました。

### ○野菜フル350セミナーの開催

日 時	内 容
① 平成 25 年 6 月 5 日（水） 10 月 9 日（水）	「健康づくりのための栄養」をテーマに野菜摂取の重要性等について講話を行った。 対象：伊勢市視覚障がい者福祉会筋力アップ教室参加者 延べ 119 人
② 平成 25 年 8 月 30 日（金） 11 月 28 日（木）	「三重の健康づくり基本計画」をテーマに、野菜フル 350 の取組等を含め講話を行った。 対象（8 月）：度会町・玉城町・南伊勢町の栄養教室参加者 40 人 対象（11 月）：玉城町健康しあわせ委員、行政担当者 30 人

### ○普及啓発等

日 時	内 容
① 平成 25 年 6 月	食育月間（6 月）及び食育の日（19 日）の啓発 場所：伊勢庁舎玄関ホール 対象：来庁者、職員 約 300 人 内容：管理栄養士学生実習生が作成した媒体の掲示、野菜摂取に関する啓発物を配布した。
② 平成 25 年 9 月 27 日（金）	コープみえ 暮らしの活動交流展での啓発 場所：県営サンアリーナ 対象：コープみえ会員（一般）140 人 内容：「野菜を 350g 食べよう」をテーマにクイズや展示等を行った。
③ 平成 25 年 10 月 13 日（日）	福祉フェスティバルでの啓発 場所：県営サンアリーナ 対象：当ブースへの来場者 約 200 人 内容：「野菜を 350g 食べよう」をテーマにクイズや展示、朝食に関するアンケート等を行った。

④ 年間	給食施設に対し、巡回指導時を活用して啓発物を配布、野菜フル 350 推進事業の認知を高めた。 対象：47 施設
------	--

#### イ「健康づくり応援の店」協働事業

##### ○「いせしま健康もてなしの店」を通じた健康づくりの推進

伊勢志摩地域では、健康的な食環境の整備を図るため、平成 13 年度から、ヘルシーメニューの提供や栄養成分表示、健康情報発信等を通じて、健康を視点としたおもてなしを行う飲食店が「いせしま健康もてなしの店」として登録されています。(平成 25 年度末の登録店舗数 59 店舗)。

この「いせしま健康もてなしの店」登録店がそれぞれの持つ多彩な特色を活かし、情報を共有し、連携を進めることにより誰もが楽しく食事ができる店づくりを支援するとともに、健康情報を発信し、健康的な食環境整備を図りました。

##### ○「いせしま健康もてなしの店」推進委員会運営等への支援

開催日	内容
① 平成 25 年 11 月 18 日	① いせしま健康もてなしの店として運営方針、研修企画等について ・ スペシャル認定制度の終了について ・ 「健康づくり応援の店」更新結果について
② 平成 26 年 1 月 22 日	・ 研修会について ③ 研修会の開催について ・ 役割分担などの調整 等

##### ○資質向上のための支援

開催日	内容	参加者
平成 26 年 2 月 5 日(水)	① ・事業報告会 スペシャル認定制度の終了に伴う該当店への対応方法の検討  ② 研修 テーマ:お店のイメージづくり ・ロゴ、デザインでイメージづくり ・色選びでイメージづくり  場所:伊勢保健所集団指導室・栄養指導室等	いせしま健康もてなしの店関係者 39 人  ※うち登録店 9 店舗

○健康づくり応援の店の新規・更新手続き及び随時訪問

登録更新店舗数 58 店舗  
 新規登録店舗数 1 店舗  
 (計) 平成 25 年度末の登録店舗数 59 店舗

○その他支援

ホームページへの掲載と随時更新

<http://www.pref.mie.lg.jp/NHOKEN/HP/kenkou/motenasai/Index.htm>

(2) 栄養施行事務事業

ア 給食施設等指導

健康増進法、健康増進法施行細則に基づき、給食施設の栄養管理に関する指導支援を実施するとともに、非常時の食料備蓄や対応マニュアルの整備状況の把握を重点的に行いました。

また、給食関係者の資質向上を目指した研修会を開催しました。

○給食施設巡回指導

区 分	管理栄養士配置 の知事指定施設	特定給食施設施設 (知事指定を除く)	一般給食施設	合 計
指導実施施設数	4	15	28	47

○給食施設個別相談・指導

相談・指導件数 9 件

○給食施設従事者研修会

開 催 日	内 容	参 加 者
平成 25 年 12 月 12 日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講演 「給食施設における災害時の給食対応 ～平成 23 年紀伊半島大水害を体験して～」 講師 医療法人紀南会熊野病院 管理栄養士 下田淑子氏</li> <li>・ 情報交換会 「テーマ：災害時の給食対応について」</li> </ul> <p>被災経験のある給食施設の栄養士から、災害時の給食対応の状況やその後の災害時マニュアル整備等について情報提供いただいた後、情報交換会にて各施設の情報共有を図った。 場所：伊勢庁舎 401・402 会議室</p>	106 人

イ 栄養表示等の指導支援

健康増進法に基づき虚偽誇大広告の禁止、栄養表示基準にかかる相談・指導を行いました。

- ・ 特別用途食品・栄養表示等の相談・指導  
相談・指導件数 8 件

ウ 調査事業

- 平成25年国民健康・栄養調査 該当地区なし

エ 栄養相談指導事業

栄養相談のニーズに応じて個別の栄養指導を行いました。

対 象	妊産婦	乳幼児	20歳未満	20歳以上	合 計
件 数	0	0	0	4	4

オ 人材育成・支援

- 市町栄養士支援

- ・ 市町保健・福祉行政栄養士連絡調整会議の開催 年間3回  
上記会議作業部会 2回  
主な取組：『災害時避難所炊き出し献立集』の作成

- 地域活動栄養士活動支援

- ・ 情報提供・情報交換会等 年間12回

- 食生活改善地区組織活動支援

- ・ 組織運営について支援する会議を開催した 2回

※「こころの健康づくり」については本節基本事業12302に、人材育成としての管理栄養士学生臨地実習は本節基本事業12101に掲載していません。

## 基本事業 12302 こころの健康づくりの推進 (主担当 健康増進課)

社会環境の複雑化に伴い、地域ではさまざまなこころの健康問題が起こっています。こころの交流を豊かにすることで住民が地域で孤立せず、誰もが住み良い地域づくりをめざして各事業を実施しています。

### 主な取組内容

#### 1 対面相談支援事業

##### (1) 精神科医師によるこころの健康相談

- ① 回数：月1回
- ② 開催場所：伊勢庁舎（内2回は志摩庁舎）
- ③ 利用件数：23件

#### 2 人材育成事業

##### (1) メンタルパートナー養成事業

###### ① 保健所実施分

対 象	回 数	人 数
一般住民	1	17
民生・児童委員（新任）	1	260
看護学生	1	6
その他団体（通所介護事業者職員）	1	26
合 計	4	309

#### 3 普及啓発事業

##### (1) 自殺予防講演会

\* 3月からの自殺対策強化月間に合わせ、伊勢市との共催にて実施

開 催 日	内 容 及 び 対 象	人数
平成26年2月26日	講演「今日も笑顔で♪こころ元気に生きる」 講師：こころ元気研究所 所長 鎌田 敏 氏	34

##### (2) 自殺予防週間啓発

開 催 日	内 容
平成25年9月10日 ～ 9月16日	① 近鉄宇治山田駅にて街頭啓発 のぼり旗を立て、啓発物品の配布と「自殺予防週間の呼びかけ」 ② 庁舎内に啓発コーナーを設置 のぼり旗を立て、啓発物品及びパンフレットの配布

(3) 自殺対策強化月間啓発

実 施 期 間	内 容
平成 25 年 3 月 1 日 ～ 3 月 31 日	① イオンララパーク店において街頭啓発 啓発物品の配布と「自殺対策強化月間の呼びかけ」 ② 庁舎内に啓発コーナーを設置 のぼり旗を立て、啓発物品及びパンフレットの配布

(4) ホームページによる自殺予防啓発

自殺予防講演会、自殺予防週間、自殺対策強化月間についてホームページに掲載し、広く住民への情報提供を行った。

4 関係機関との連携等

(1) 自殺・うつ対策ネットワーク会議（地域・職域連携推進懇話会）の開催

① 日時：平成 26 年 2 月 13 日（木）14 時～16 時

② 内容：自殺・うつ対策を含めたこころの健康づくりについて

(2) その他

自殺予防講演会、及び自殺対策強化月間の街頭啓発において、伊勢市の協力を得ながら実施した。

## 基本事業 1 2 3 0 3 生活習慣病・難病対策の推進

(主担当 地域保健課・衛生指導課)

難病患者の病気や日常生活に対する不安の軽減を図るため、保健所において特定疾患医療受給申請時に面接を行い状況を把握します。

また、保健師などによる家庭訪問を実施し、患者の病状変化に応じた援助を行い、地域における支援体制の充実を図ります。

### 1 難病対策の状況

原因不明の疾患のうち国の指定する56疾患について医療費を公費負担し(重症の場合、全額公費負担。その他については上限を設定し、一部自己負担)患者の負担軽減を図るとともに、難病患者等への療養支援や生活支援を行い精神的・身体的不安の軽減を図りました。

また、先天性血液凝固因子障害の患者に対し、医療費の公費負担を行い精神的・身体的不安の解消を図りました。

#### (1) 特定疾患医療受給者の状況

治療が極めて困難であり、長期の療養を要し、その治療費も高額なため、指定された56疾患の患者の自己負担を軽減し治療の促進を図りました。

平成26年3月31日現在

番号	市町名 疾病名	伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	合計
1	ペーチェット病	26	7	8	1	4			49
2	多発性硬化症	24		4	3	2		3	36
3	重症筋無力症	19	5	13	2		3	2	44
4	全身性エリテマトーデス	47	8	19	9	4	2	7	96
5	スモーン	2		1			2		5
6	再生不良性貧血	9	3	5		1		1	19
7	サルコイドーシス	29	4	18	1	2	2	3	59
8	筋萎縮性側索硬化症	11	1	6	1			3	22
9	強皮症・皮膚筋炎 又は多発性筋炎	65	10	27	5	3	9	12	131
10	特発性血小板減少性紫斑病	34	6	13	2 (1)		1	5	61 (1)
11	結節性動脈周囲炎	13	1	7		1		3	25
12	潰瘍性大腸炎	152	21	63	19	8	6	10	263 (4)
13	大動脈炎症候群	5		4				1	10
14	ビュルガー病	7	3	4	1			2	17
15	天疱瘡	7					2	1	10

番号	市町名 疾病名	伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	合計
16	脊髄小脳変性症	25	9	15	3	2		6	60
17	クローン病	33	5	7	2	2	5	1	55
18	難治性の肝炎のうち劇症肝炎			1					1
19	悪性関節リウマチ	10	1	6			3	3	23
20	パーキンソン病関連疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病）	118	28	68	15	5	19	35	288
21	アミロイドーシス	3		2			1		6
22	後縦靭帯骨化症	52	5	23	6	5	6	9	106
23	ハンチントン病	5							5
24	モヤモヤ病 （ウィリス動脈輪閉塞症）	10	3	9	2	1			25
25	ウェグナー肉芽腫症	1	1	1			1	2	6
26	特発性拡張型（うっ血型） 心筋症	70	10	34	5	6	5	15	145
27	多系統萎縮症（線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガ症候群）	11	2	5				1	19
28	表皮水疱症			1					1
29	膿疱性乾癬	1	1	3	2				7
30	広範脊柱管狭窄症	1	1				1	2	5
31	原発性胆汁性肝硬変	62	9	22	5	6	2	5	111
32	重症急性膵炎	2		1			1		4
33	特発性大腿骨頭壊死症	6	1				1	1	9
34	混合性結合組織病	8	2	7	1	1		3	22
35	原発性免疫不全症候群	3							3
36	特発性間質性肺炎	12	4	4	3	2	1	5	31
37	網膜色素変性症	26	4	26	12	2	3	9	82
38	プリーオン病	1		1					2
39	原発性肺高血圧症	3					1	1	5
40	神経線維腫症（Ⅰ型・Ⅱ型）	2	2	1					5
41	亜急性硬化症全脳炎	1							1
42	バッド・キアリ症候群						1		1
43	特発性慢性肺血栓栓症	1	1						2
44	ライソゾーム病		1						1
45	副腎白質ジストロフィー	2							2

番号	疾病名	市町名							合計
		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	
46	家族性高コレステロール血症								
47	脊髄性筋萎縮症								
48	球脊髄性筋萎縮症	1	1	1					3
49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	4	2	4	2		1	3	16
50	肥大型心筋症	8		2	1			1	12
51	拘束型心筋症								
52	ミトコンドリア症	1						1	2
53	リンパ脈管筋腫症								
54	急性多形滲出性紅斑（急性期）								
55	黄色靱帯骨化症	4				1		1	6
56	間脳下垂体機能障害	18	3	7		3	1		32
合 計		954	163	444	106 (1)	61	80	157	1965 (1966)

\* ( ) は転入者含む

## (2) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況

平成25年4月1日～平成26年3月31日

番号	病 名	件 数
1	第Ⅰ因子（フィブリノゲン）欠乏症	—
2	第Ⅱ因子（プロトロピン）欠乏症	—
3	第Ⅴ因子（不安定因子）欠乏症	—
4	第Ⅶ因子（安定因子）欠乏症	—
5	第Ⅷ因子欠乏症（血友病A）	7
6	第Ⅸ因子欠乏症（血友病B）	—
7	第Ⅹ因子（スチュアートブラウア因子）欠乏症	—
8	第ⅩⅢ因子（フィブリン安定化因子）欠乏症	—
9	Von Willebrand(フォン・ヴィルブラント) 病	6
合 計		13

## 2 難病在宅ケア事業

- ・ 難病患者の療養生活を支援し、QOLの向上を目指します。
- ・ 在宅患者及び家族の在宅ケアの充実を図ります。
- ・ 各関係機関との連携を強化していくことにより、地域支援体制の基盤を作ります。

### (1) 特定疾患医療申請時面接の実施

患者個々の状況や療養上の困りごと及び問題点を明確にし、必要なケアを行うため、申請手続に来所した患者・家族に対し面接及び電話による相談支援を行いました。

個別面接 : 184人

### (2) 訪問相談等の実施

訪問対象者は筋萎縮性側索硬化症等の神経筋疾患が大半を占めています。

訪問人数 : 延べ32人 (実人員 12人)

### (3) ケース検討会の実施

実施回数 : 3回 (実人員 2人)

## 3 肝炎治療特別促進事業 (B型、C型ウイルス性肝炎インターフェロン治療・核酸アナログ製剤治療医療費助成制度)

B型、C型肝炎のウイルス除去を目的に、インターフェロン治療・核酸アナログ製剤治療にかかる医療費を助成します。

(平成20年4月1日から事業開始)

### (1) 公費負担医療状況 平成25年4月1日～平成26年3月31日

区分	件数
申請	147
承認	147

## 4 原子爆弾被爆者対策

原子爆弾に被爆し、今なお特別な状況にある者に対して、医療特別手当の支給等の措置を講じ、その福祉の向上を図るとともに、健康診断及び医療費助成を行い、健康の保持を図りました。

### (1) 健康手帳交付、手当受給状況 平成 26 年 3 月 31 日 (単位：人)

区分		市町名							
		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	合計
健康手帳 交付状況	男	18	3	14	1	0	0	7	43
	女	13	4	6	1	0	0	0	24
	計	31	7	20	2	0	0	7	67
各種 手当	医療特別手当	0	0	2	0	0	0	1	3
	保健手当	3	1	0	0	0	0	0	4
	健康管理手当	28	6	18	2	0	0	6	60
	介護手当	0	0	0	0	0	0	0	0
	家族介護手当	1	0	0	0	0	0	0	1
	手当なし	0	0	0	0	0	0	0	0
	葬祭料	2	0	1	0	1	0	0	4
計	34	7	21	2	1	0	7	72	

### (2) 健康診断受診者状況 平成 26 年 3 月 31 日 (単位：人)

定期健康診断	検査項目	一般検査	肝機能検査	ヘモグロビン A1c
	第 1 回春	33	30	30
	第 2 回秋	29	27	17

がん検診 (希望による)	胃がん	肺がん	乳がん	子宮 がん	大腸 がん	多発性 骨髄腫
	2	5	2	0	63	4

## 5 骨髄バンク事業

骨髄移植とは、白血病や再生不良性貧血などの血液難病におかされた患者さんの骨髄幹細胞を骨髄提供者（ドナー）の方の健康な骨髄幹細胞に入れ替える（実際は骨髄液を点滴静注する）治療のことである。しかし、移植のためには、患者さんとドナーのヒト白血球型抗原であるHLA型が一致しなければいけません。一致する確率は兄弟姉妹型で4分の1です。しかし、親子ではまれにしか一致せず、非血縁者間では、数百～数万分の1の確率でしか一致しません。

このため、各種イベント会場等において「勇気の会」伊勢志摩支部（三重県骨髄バンク推進連絡会）の協力を得て骨髄バンク登録の啓発を図るとともに、献血ルーム「ハートワン」と臨時登録会で骨髄提供希望者の登録受付を行っています。

### (1) イベント会場での啓発活動の実施

#### ア 献血ページェント

平成 25 年 7 月 15 日(祝月) イオンタウン伊勢ララパーク  
平成 25 年 10 月 12 日(土) 伊勢まつり  
平成 26 年 3 月 9 日(日) イオン阿児店  
平成 26 年 3 月 18 日(火) 鳥羽ショッピングプラザハロー

#### イ 学園祭

平成 25 年 11 月 2 日(土) 皇學館大学 倉陵祭

### (2) 骨髄提供者登録受付

#### ア 臨時登録受付

登録者 32 名

実 施 日	場 所	登録者数
平成 25 年 7 月 15 日(祝月)	イオンタウン伊勢ララパーク	6
平成 25 年 10 月 12 日(土)	伊勢まつり	6
平成 25 年 11 月 2 日(土)	皇學館大学「倉陵祭」	11
平成 26 年 3 月 9 日(日)	イオン阿児店	8
平成 26 年 3 月 18 日(火)	鳥羽ショッピングプラザハロー	1